



あだいに

110号

令和6年1月25日

編集発行：男鹿潟上南秋医師会 <http://oknmed.jp>
〒010-0101 秋田県潟上市天王字追分西4-30-E ☎(018)872-1022 ☎(018)872-1021



目次

特集「干支」 「希望の処方箋」

- ・辰年 古谷雅幸 … 2
- ・皆さま、良いお年をお迎えください
- ・憂き世を生きる術 ^{すべ} 三浦一樹 … 4
- ・不安の時代を生きる 東 紘一郎 … 5
- ・未来 肥田野文夫 … 6
- ・希望の処方箋 ~Rp. イチャモン細粒1g朝 do~ 佐々木康雄 … 7
- 会長レター[㊟] 明日はきっといい日になる 佐々木範明 … 8
- ふんぶんコラム … 9
- 理事会 … 10

- 2023年 忘年会 … 10
- 新入会員 … 13
高橋 淳 / 阿部ゆき / 鈴木寿明
- 医聖祭 … 16
- 生涯教育講座 … 17
小林五十鈴 先生 / 中永士師明 先生
- ワンポイントアドバイス^㊿ … 20
小林 顕 先生
- 今日の診察室から^㊿ 田村俊子 … 21
- ナイトキャップ … 22
- 編集後記 … 23
- 表紙説明 … 24

特集

「千支」「希望の処方箋」

激流を遡さかのぼった鯉は竜になるという登竜門。今年の千支会員は5名で2名から原稿を頂いた。辰年にしては寂しい数だがいずれも快作。

「不安の時代を生きる〜新年に語る希望の処方箋〜」このテーマはやや難儀だったらしく投稿が少なかった。これも世相の反映か。だが辰の年である。めげずに「翔」びたい。



辰年

ふるやファミリークリニック (男鹿市)

古谷 雅 幸

生まれたのは土崎の自宅、大晦日の午後10時頃。後処理が終わって除夜の鐘。1月1日生まれの辰年となったようだ。

築150年以上の座敷には仏壇、その上に神棚、横に龍の掛軸があり、毎日妻が灯と水を上げている。その掛軸は数回表具されているようで、私が生まれる前からあったのだろう。祖父が船持ちの魚問屋をしており、

中庭にはお稲荷さんの祠もあって商売の守り神のひとつだったようだ。

家から5分程の池のほとりに龍神様があり亀が釣れた。飼うことはなく酒を飲ませて逃がす慣わしがあり、自分もそのようにしていた。また、高清水公園からすぬまの空素沼でも亀が釣れ、辺りは鬱蒼として烏の寝床となっており、足元には烏の死骸、見上げ

ると松の枝に千羽以上真つ黒に塊まっている様は恐怖。

その近くにも少し大きな龍神様があり、小学生の頃、成長痛だったのだろう、母親と足をひきずりながら御祓いを受けた記憶がある。辰年生まれだからなのか、千支の12匹は縁起物とされるも昭和生まれの子供の名前に使われることはまずなく、中学同期1500人中、龍の字は友人1人しかいなかった。

架空の龍以外は佐竹知事なら、どん臭い動物と言いそう。ねずみはコソコソ隠れて米どろぼう、牛は畑で尻を鞭で打



空素沼

たれ苦顔でふんばるー。

私、親と違い信仰心ほぼない。居間の窓から正面に竈神社かまどの鳥居、その奥に社殿、賽銭箱が見え今年もガラス越しに初詣。裏口からは教会の十字架、鐘まで見え、これだけ神々が揃えば今年もなんとかなるだろう。辰年でない方もいい年でありますようにとお願いしました。

(編注) 飛ぶ鳥の形に似ていることから烏沼↓空素沼となり、3つの頭を持つ龍神が住むといわれ、大旱魃かんばつの折に雨乞いしたところ靈験あらたかだったそう。龍神を祭る空素沼神社は古代秋田城の一角にある。



空素沼神社



11月の若狭湾（福井）

辰年生まれとのことでは原稿を依頼されました。還暦を迎え、人生の最終章をどのように生きようか、真剣に考える時期に入ったと実感します。若い頃はキャリアアップを目指し、ひた

すら、走っておりまして。でも、今はもう走れなくなりました。体力はもろること、精神的エネルギーも枯渇してきており、学会発表、論文執筆などの活動は現在休止しております。加えて、個人的な問題として親の介護も大きな負担になっています。愚痴をこぼして申し訳ございません。諸先生方も、こうした時期を乗り越えて、お元気でやっておられるのですから、頑張らなくては。

湖東厚生病院に2015年に赴任し、もう8年も過ぎました。能代市生まれなので、言葉や文化など近いせいも、まったく違和感なく最初から溶け込むことができました。今では、この地域が大好きになってしまっ

て、日々の診療で患者さんと接

すること自体が楽しいです。秋田県内をくまなく転動してきましたが、ここが一番落ち着きました。この地域と相性が良いのでしようね。

さて、今年が辰年とのことでは良い年になることを切に願いますが、世界情勢をみるとキナ臭いことばかり。ロシア・ウクライナ、パレスチナ等。日本ではニュースで報道されないのが話題に出ることはまず無いのですが、シリア内戦もずっと続いています。米軍介入も続いています。こうした状況で、中国に事を起こされたら、どうなるのか。米軍の支援を頼りにできるのか。いずれ、台湾、沖縄は中国に編入される事になるのでしようかね。政治、軍事には詳しくありませんので、適当なことは書かないことにしますが。中国、北朝鮮などを経済力で圧倒していた70年代、80年代とは、空気がまるで違う。ネットやスマホなど世の中は本当に便利になりましたが、心の中はどうですか？ 70〜80年代は気

持ちが明るかった。将来に夢を持てた。今はどうですか？ 若い人はどういう感じなんですかね。あまり暗い事ばかり考えず、何か楽しい趣味でも持つようにしようかな。老後は八郎潟でブラックバス釣りとかいいかもですね。それとも、クマ被害が多くなってきたので狩猟免許取って猟友会に入るとか（笑）。



皆さま、良いお年を

お迎えください

湖東厚生病院（八郎潟町）

鵜木 栄 樹



雪の横手球場



憂き世を生きる術すべ

藤原記念病院 (潟上市)

三浦 一樹

昭和30年代の坂本九の歌に

『九ちゃん音頭』というのがあった。「とかくこの世はままならぬ 愚痴はよそうぜ 歌でも歌おう それがね それが浮世と云うものさ」。浮世は憂き世で面白くもない世の中ということである。江戸幕末に長州藩士・高杉晋作が「面白き こともなき世を 面白く すみなすものは 心なりけり」と詠んだとされる(実は発句が高杉の連歌であつたらしい)。「心」といえば漱石だ。「浮草」の「智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。兎角に人の世は住みにくい。」は有名だ。その後「どこへ越しても住みにくいと悟った時、詩が生まれて、画ができる」と続く。これは昇華であり

悟りである。

面白くもなく住みにくく、ままにならないことを「苦」という。ブツダは、人生は苦だらけだが、執着を捨て苦から解脱し悟りを得、涅槃に至ることを説いた。二千五百年以上前のことだとされる。どうやら苦に苛まれる生き物を「人間」というのかもされない。「荷」という字は、あたかも人(人偏)が苛を背負っているようにも見えてくる。

四苦八苦の四苦は生老病死だが、八苦の苦は八つどころか数えきれない。「不自然」な自然災害、自我丸出しの戦争、眼前に見えないウイルスやサイバー空間からの侵害、加えてマルクスの共産党宣言妖怪のVer.2が世界中を徘徊し、人々は自分



安比高原の恐竜

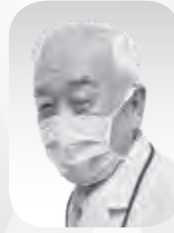
の力ではどうしようもない災禍に脅え、不安を抱き、苦に苛まれる。四苦八苦を語呂合わせで四苦は「よく」、八苦は「やく」と読んでみる。「よく」は満たされない事や物を追い求める欲と、貪るような劣情の慾とがあり人の心に浸淫している。また、「やく」は、ろくでもないことこの「厄」、束縛される様な「扼」、牛馬の如くに首根つことを捉えられ自由にならない「軛」、

疫病神の「疫」に通じる災いだ。現代人はこれらの災禍に拘り囚われ続ける。もはや他の人の心を慮る余裕もない。さらには心の安寧を得るはずの帰依する対象を失っている。ではどうするか。

私は言葉の持つ霊力を信じる。一片の詩、一首の和歌、俳句の一句には「世の中とはまさにそのようなものだ」と思わせる力があり感動を与える。歌謡曲も同様である。カラオケで歌い、心の思いを歌手や歌詞に仮託し、歌でその世界に憑依する。これが一番容易い方法のように感じられる。私は、車の中で古い流行歌であるフランク永井、三橋美智也、鳥倉千代子の歌声に自分の声を重ね、なり切るように歌いながら通勤している。さらには「声明」を耳と体で聞き、唱える。そうすると、自分という人間が、ひとの心がわかるとてもいい人のように思えてくるから不思議だ。通勤は修養の場でもあり有難い時間なのだ。憂き世を生きる術は、心

の中で霊力を帯びた素晴らしい言葉を繰り返し自分に聞かせることだ。そしてさらに心の中で「いいかげん力」のおまじない

言葉を咬こう。「それでいいのだ」、「なるようになる」、「ダイジョンブダ」、「ドンマイドンマイ」、「ケセラセラ」。



不安の時代を生きる

藤原記念病院（潟上市）

東 紘一郎

われわれに不安を呼び起こすいろいろな問題がありますが、その解決は一筋縄でいくものはありません。たとえばウクライナ戦争はプーチンが兵を引けばそこで終わります。先の大戦の時の旧日本軍と同じくガザのハマスには市民を盾として用いるだけで、市民を守ろうという意識がないように見えます。ガザ市民の犠牲はハマスが降伏すればすぐ終えることができます。しかし今後ハマスが居残ればイスラエルにロケット弾を再び打ち込み、イスラエルの報復爆撃

をまねき市民の犠牲をさらに増やすでしょう。しかしプーチンやハマス指導部に撤退や降伏の決断を下させることは絶望的に不可能だと思われまます。円安と物価高は日本政府の経済政策とともに戦争や世界的な気象異状による作物不作などが絡み合っている結果のようです。日本の平均年収は1991年には世界第4位でした。それがずるずると下がって20年には20位まで下がり、22年には韓国に抜かれて21位になりました

(Yahoo news 6/28)。この日本経済の目を覆いたくなるような低迷は、小泉政権の「改革（規制緩和と民営化）」の掛け声で進められてきた新自由主義的な政策が原因だと思われまます。しかし、「改革！改革！」と言う威勢のいい掛け声に反対するところは日本人には難しいのかもしれない。

ように見えます。原子力発電に回帰しろと言う人も出る始末です。しかしながら地震や火山噴火、その他の災害の多い日本では原発の安全性はそれほど高くはないと思われまます。

昨夏の猛暑は異常でした。地球温暖化の影響でしょうか。地球温暖化は大気中の二酸化炭素の増加によるという仮説は大方の賛同を得たようです（たまたまそれを否定する人がいますが変わり者の評価を得てしまいます）。対策は簡単で、化石燃料の使用を止めればよいのですが、日本にとってそれは非常に難しく、環境NGOから温暖化対策に消極的な国に対して贈られる「化石賞」を22回連続受賞という不名誉な記録を積み上げる結果になっています。日本の場合、再生可能エネルギー開発のための投資が乏しかったために現在の窮状を招いてしまった

人口減少をはじめとする地方の衰退は、地方の主要産業である農業の衰退と重なって見えます。若い人々が積極的に農業に取り組みたくなるためには農業で十分な収益が上がるようにしなければなりません。そのためには農産物の関税を上げて日本の農業を保護する一方、農家の収入を保証する給付を行わなければなりません。しかし農産物の関税を上げるとはアメリカ合州国（U.S.A.）を諷すと「アメリカ連邦」でしょうか。略して「ア連」ですね。妥協して本多勝一に従って「合州国」としました）が許してくれませんか、新自由主義の緊縮財政下で、農家に給付金を配ることは困難です。また、地方活性化のために、これも緊縮財政下では不可能ですが、今まで全体として減



磯丸水産のカニみそ

らされてきた地方交付税交付金を5倍とか10倍に増やすことです。そうすれば老朽化した地方のインフラ改修はたやすくできるでしょうし（地方の建設業者がそれまで倒産・廃業しないでいてくれればの話）、地方の赤字鉄道の存続も可能になります。赤字鉄道を存続させる意味はあるのかと言う意見もあるかもしれませんが、将来の地球を考えると環境負荷の小さい鉄道に交通の主役を担わせるべきという意見もあるでしょう。

少子化問題が非婚問題だと言うことは、広く理解されるようになってきました。結婚しさえすれば、多くの人は2人ぐらいい子供を作るでしょう。問題は国民の全員の所得が倍増されるべきですが、あるいは将来的に自分の給与が上がると若い勤労者が確信できるようにすることになります。その意味では、年功序列制をも肯定的に見直す必要があるかもしれません。以上述べたように、不安の時代を明るくするような希望の処方箋を出すことは難しくありませんが、それを当事者に実行させることが非常に困難だと言うところに問題があります。さしあたって必要なことは、問題がどこにあるかをはっきり私たちが認識することです。そうしてたとえば選挙などで当事者の背を押してやれば明るい希望も見えてくるかもしれません。

経済的な理由で結婚に踏み切れない若者が増えていることです。そうすると解決策は若年者の所得を上げるか（もちろん若年者だけではなく日本

メディアのすべて（ネットは知らない）が制作費削減のせいなのか、優秀な成績で入社した社員の質がひどいのかは知りませんが内容の劣化が甚だしく（昔から同じかも）、NHKの世界のドキュメンタリー、映像の世紀、BSフジのプライムニュースぐらいいしか見るものはありません。そのテレビでは虎ノ門ヒルズ、麻布台ヒルズ、渋谷の100年に1度の巨大再開発など世界に誇る（？）事業が報道されますが、科学技術が進化し続けて未来はもったいい時代になる、なんて思っている人はよほどの能天気です。地球温暖化（最近では沸騰化というらしい、まあ同じ）の異常気象、気候変動とかが注目され、二酸化炭素の量を何%削減する、で

すが温室効果ガスの科学的予測はまだ評価が定まっていないはずで、仮説を基に行動しているふりをしますが、現実はやりたい放題です。そんな有能な科学者の恐怖をおおる未来予測などどうでもよくて（本当はよくない）、気になるのは食物汚染です。昔から保存料は添加されていますが、今は牛豚鶏に抗生物質、成長ホルモンを投与し、野菜への農薬、除草剤、色あげ剤の使用があり、マイクロプラスチックの魚汚染も深刻です。さらにヨーロッパは食品偽装大国といわれ、オリーブ油の半数以上が偽物だとか、病死した牛肉を特殊な薬品で処理して新鮮に見せるというのが常態化しているそうです。以前から公害はあり、煤



未来

杉山病院（潟上市）
肥田野 文夫

煙の塵肺、石綿による中皮腫、水銀の水俣病、カドミウムのイタイイタイ病、六価クロムの：と数え上げればきりがありませんが、これらは基本的には有害物質を摂取させられた個人の疾患にとどまっています。ところが、食物からほんの少しずつ体内に入ってくるものは、短時間では身体に変化はあらわれません。例えば安いプラスチックのコップで水を飲むとプラスチックの味がするのは誰でも経験します。同様に肉や野菜に取り込まれた化学物質を私たちは何も気にせず毎日食べています。このような化合物は昔、大量に使われた殺虫剤のDDTや



サンちゃん

ベトナム戦争で木を殺すのに用いられた枯葉剤の仲間です。効果が高いというのは長期間分解されない、つまり体内にずっと残るわけで、プラスチックも粉々になったとしても土に還るわけではありません。最近の、洗濯しなくてもいい消臭剤やこすらなくてもいいお風呂洗浄剤はおそろしく強力そうで、下水から土壌へ浸透すれば微生物は

すべて死に絶えるかもしれませんが、長い間の吸収によるガンや慢性疾患の発症、胎児・生殖細胞への影響はずっと以前から警告されています。もちろん、生産して儲ける側の企業などは「因果関係は証明されていない」と反論を続けています。うちの業界では生まれつきの障害、例えば発達障害の増加も化学物質との関係があるのではといわれ

ます。今までは診断基準のでたらめさ（医師の能力の低下）でこの数字と考えていましたが、社会・世界の混乱・不確実性を見ると、進歩、便利さを求めるあまり、遺伝子の操作とか、生命を作り出すとか、神の領域まで人間は入り込もうとしていて、人類は自分たちを自ら滅ぼそうとしているとしか思えなくなりました。



希望の処方箋 (R.P. I) チャモン細粒1g朝do)

佐々木 康 雄

ハートインクリニック(潟上市)

秋田県知事の「貧乏くさい」であるが、作家の内館牧子氏は魁連載『秋田花まる！』で、私の幼い頃は母親もよく口にし、岩手出身の父は「みんながみんな秋田みたいな裕福なところだ育っていないから」と論じていたという。宮沢賢治の「雨二モ

マケズ：一日二玄米4合ト味噌ト少シノ野菜…」はヤマセ(偏東風)のため凶作と飢餓に苦しんでいた岩手の現実で、人々は県境の和賀山塊を越え豊かな仙北平野を目指し山道には白骨累々だったと角館の写真家・千葉克介氏は話していた。

四国のじゃこ天は貧乏くさいと舌を滑らせた知事の佐竹(北)家は清和源氏の流れをくむ古い家柄だそう。中世日本、承久の乱で後鳥羽上皇は隠岐島へ、加担した公家らは四国へ流された。関ヶ原で秋田へ飛ばされた佐竹は、氏育ちからすれば罪人の配流先に過ぎない四国など最初から貧乏くさい田舎といった気分であつたか。秋田のエエフリコキだったか。

バブル崩壊からコロナまでの30年余、残業は増え続け、楽だった仕事はきつくなり、き

つかった仕事は担う人が減った。この間、地方公務員は3割減り、逆に15名前後だった大臣は今や19名。副大臣26、大臣政務官28を合わせると73名。老朽インフラ整備はおろか秋田駅と五城目バスターミナルを結ぶ路線バスはまた減便、公共交通もターミナルステージである。

希望は？ 昨年は秋田芸術劇場ミルハスで辻井伸行、フジコヘミング、反田恭平、小山実稚恵、千田桂大のピアノを楽しんだ。鹿嶋幸治・前編集長は生前「講演や演奏で登壇する人は正装だ。客もせめてネクタイなど貧乏くさくない身なりでないと無礼であろう」と語っておられたが、秋田の客も少し行儀よくなっている。

飲み仲間らはい。海や田園風景、冬は雪が覆う美しい山々、大雨やクマ出没などスリリングな年もあるが、テレワークや働き方改革でマンネリ業務とアリバイ的書類と労働時間が減り、育児や趣味運動の時間と給与が増えれば都会生活を上回

る魅力がまだ秋田にはある。人は石垣、人は城というのがそろそろ人口減は悩まず楽しもう。県民は秋田市に集約する。大町・中通に空しく拡がる駐車場2千台分に集合住宅を増やして空洞化対策、或いは逆に県民はどんどん東京へ移住し一極集中を加速させ、首都圏が疲弊したら国破れて山河在りと帰郷する。定年後対策は溜り場でモノ造りと運動、自治会経営の白タクでタクシー激減に対処と色々あるわ…。

他にもある。医療はAIでは



八幡平とワンズ

ば充分。科学技術や諸制度の立て直しに超優秀な若者をもう少しし医学部以外へ誘導する。知識技術が相応で正直で親切な、人

間くさい医師がよい…ごもつとも。どうも希望ならぬ絶望の処方箋だが、じゃこ天騒動の知事と同じで終わりよければ…。

会長レター

28

明日はきつと

いい日になる



佐々木医院（潟上市）

佐々木 範明



まずは、能登地震で被災された方々にお悔やみとお見舞いを申し上げます。また、羽田空港の航空機事故でお亡くなりになった海上保安庁職員のご家族様にお悔やみを申し上げます。

力兵力にものを言わせてクリミア周辺やパレスチナを占拠してしまうのだろうか…。どちらも不安でいっぱい。日本では年明け早々、まさかの不測の地震災害と航空機事故。秋田では不意をつく大雨災害とクマ災害。そして当家にも不慮の事故とも言える事件が起こった。

どうもロシアによるウクライナ侵攻以来、不安、不測、不慮、不意といった「不」が付く出来事が多いような感じがする。このままロシアやイスラエルが国

クリスマススイブの前日、診察が終わるカリテ整理をしている

と自宅から内線。「今、こちらに来られますか？」という。声の調子から何か突発的に良くない事が起こったのはすぐ分かった。急ぎ自宅に戻ると、息を切らした息子とヘナヘナと横になっっているケンシン。ケンシンの太ももとお尻は白い毛に血がこびり付いていた。散歩の途中、曲がり角で大型犬と鉢合わせになり、その時襲いかかられて噛まれたとのこと。ケンシンの傷の程度を確認したかったが、興奮して激しく嫌がり診察ができなかったので、傷を舐めないようにペーパーおむつで覆い、すぐ獣医に連れて行く事にした。



名誉の負傷？

が、元氣無くなされるままだった。いつものケンシンお気に入り動物病院に着くと弱々しく尻尾を立てて振ってきたので少しホッとした。獣医さんから、「1カ所、肛門の横の傷は深いですね。縫ったほうがいいかな、うーん」と悩んでいるコメント。縫った糸が便で汚染するのも困るので抗生剤の内服と塗り薬で様子を見る事になった。前日まで雪をかき分けて遊んでいたケンシンも2日間くらいは元氣がなかった。肛門周りが痛いのか丸2日間排便なし。3日目の散歩中にと排便があつてこの頃から元に戻ってきた。今月4歳になる若いワンコだから回復は早く、処置の時に剃られた毛もグングン伸びてきた。良かったヨカッタ。

クリスマス前の日々には例年通りしつかり雪も降って、除雪車が路肩に寄せていった重い雪塊を除ける作業が始まったが、お正月の好天で雪は消えてしまった。春の田植え時期に水不足で稲作に支障がでないかと心

配ではあるが、暖かい正月は嬉しい。元氣になったケンシンと新春のツーショット。

昨春秋、鴻上市大久保の元木山公園で、昭和地区始まって以来の大人数を集めて「高橋優」の野外コンサートがありました

したね。彼の歌の「明日はきっといい日になる」を口ずさんでしまった。1年の始まりですから、こんな風に明るい気分ではないですね。

最後になりましたが皆様、明けましておめでとございます。本年もよろしくお願ひします。

ふんふんコラム

元寇と少子化

13世紀の文永・弘安の役で日本側は、ピューと鳴る鎗矢(かぶらや)で戦の開始を告げ、騎馬武者が1人ずつ蒙古軍に「我こそは」と名乗りを上げた。敵は驚き呆れ嗤いながら武士たちに矢を射たという。日本は集団戦を知らなかったのである。

その1世紀前の源平合戦で義経は一ノ谷の断崖絶壁から敵の背後をつき、壇ノ浦では陸(島)から

平氏の舟を奇襲するなど戦闘作法を無視して圧勝した。北条政權は義経から何も学んでいなかったらしい。

ウクライナと中東ガザの戦争でも無人機などA-1兵器や情報戦が主流で、従来の戦法とは様変わりである。各陣営への支援も複雑怪奇、兵士より住民の方がはるかに多く死んでいく。

この20年で学童が半減した少子化も一種の戦争だ。元寇に対し幕府と朝廷は具体的防衛作戦より神仏祈祷に徹した。現代日本も神風だのみか。出てこい牛若丸！

(ふんころがし)

2023年 医師会忘年会

12月16日(土) 秋田メトロポリタンホテル

せきクリニック(潟上市)

関 仁史



コロナ禍もあり4年ぶりに男鹿潟上南秋医師会の忘年会が開催されました。コロナが5類に分類されたことにより各方面の忘年会や会合が増えて会場の予

約が困難だったため、今回は年末開催となりました。時節柄、他の会合と重なった方も多く、参加者16名と例年よりやや少なめだったようです。

佐々木範明会長の挨拶と乾杯で開演。恒例の一人一言挨拶を紹介します(編集の都合から発言順は若干変更。敬称略)。



島山 関 仁史

理事会

10月17日(火) 午後7時
ブルーメッセ昭和・花の大地

範明会長から群市医師会
長会議報告。秋田県から、
高齢者施設における新型コ
ロナ感染ハイリスク者に対
する初期段階での適切な対
応について、特に経口抗ウ
イルス薬の円滑な投与を宜
しくと。一方、10月から新
型コロナ薬が自己負担とな
るため県へ支援を要請し
た。

第8次医療計画。2次医
療圏が8から3になり、各
圏域の医療介護が連携でき
るよう各都市医師会で協議
し研修や住民への説明会を
企画するよう依頼があつ
た。人口減と高齢化進行、
患者数減、医療ニーズの変
化に対応した医療提供体制
の確保、医師の働き方改革

に伴う実質的な医師減、質
と量の維持には適正配置と
業務分担も必要。在宅医療
の支援体制は地域包括ケア
システムや市町村地域包括
センターが重要となるだろ
う。県北、県央、県南でパ
ネルディスカッションなど
を予定。

生涯教育。勉強会は必ず
しも最先端医療の話題でな
くてもよく、またメーカー
の協力が難しくなっており
今後は自前企画で会場はプ
ルーメッセ、年3回程度
へ。8月、12月、1月は休
みとする。忘年会の実施も
決定。

今日の弁当は旨かった。
当医師会事務局は追分の大
腰眼科近くへ移転。

畠山浩 昨年は施設内でコロナのクラスターなどがあり大変だったが、今年はまだインフルエンザの流行もなく比較的穏やかな師走であった。

関仁史 潟上市長沼に開業して18年目になった。前回開催された4年前の忘年会の期間は僧帽弁閉鎖不全の治療で大変だったが、現在は幸い体調も回復し順調に仕事をしている。今年は医師会に波多野先生も加わり、畠山先生と私と大学の同級生3人が集まり頼もしくなった。



千葉 児玉



波多野 長谷川

千葉裕一 五城目で前医から継承して開業し30数年になる。外来診療、学校医、老健施設の嘱託医、警察医などとにかく仕事が多く大変である。仕事をやり散らかして湖東病院の先生方に迷惑をかけていると思うが、今後よろしく。

児玉光 八郎潟町で開業して23年。4月に孫ができて爺さんになった。7月の大雨では自宅が浸水し2階へ垂直避難した。車も浸水し、ハイブリッド車は水につかったら絶対エンジンをかけてはいけないと業者に言われてそのままレッカー車で運ばれ修理に数十万円かかってしまっ

た。8月にコロナにも感染してしまうなど今年はいろいろなことがあった。来年は穏やかな年になることを祈っている。

長谷川幸弘 本日の忘年会参加者の中では最年長になってしまった。最近、医療継承の話などが多く来る。仕事をやめて船で釣りをしたり畑仕事をしたりしてのんびりしたいと考えることもあったが、結局すごく暇になりそうなので生涯現役で頑張ろうと思っている。

波多野善明 昨年4月より湖東厚生病院の院長として働いている。常勤医も増えてきており今は病院の活動を周知してもらおうよう努力したい。介護施設などとも連携を進め、また認知症に関しては杉山病院とも連携をすすめる地域社会へ貢献していきたい。急性期病院への紹介がためられるような慢性疾患患者の受け入れも積極的に対応していきたいので今後とも連携のほどよろしく。



坪井 神田

坪井純 7月の水害では自宅がギリギリ床下浸水で済んだが大変だった。車はあらかじめ避難してあり被害はなかった。この歳で水害に遭うとは思わなかったが命に別条がなかっただけでもありがたいと思っている。

神田仁 4年ぶりの忘年会で私もいつの間にか前期高齢者になり、3年後には後期高齢者になってしまう。そろそろ医院をたたもうかとも考えたが、来年は診療報酬もわずかに増加するので閉院するのはやめ2年に1日ずつ働く日数を減らしたい。



範明会長 猪俣

佐々木範明 医師会長になって
来春で8年になる。今月終了す
るコロナのワクチン集団接種へ
のご協力に感謝する。自分の医
院のことでは、職員の負担軽減
を考え院外処方への移行を模索
したが、協力してくれる薬局が
なかなか見つからない。プライ
ベートでは子供3人がそれぞれ
の道を歩み始めており、父親と
してうれしい気持ちの反面、寂
しさもあり複雑な心境である。
猪股良之 杉山病院の院長をし
ている。42歳で厄年だった。人

間ドックのCT検査で肝臓の影
を指摘されてびっくりしたが大
丈夫だった。コロナに感染した
り勤務している同僚の精神科医
が倒れたり大変な状態であつ
た。来年はいい年になることを
祈っている。認知症の専門医で
もあり気になる患者さんがいた
らぜひ紹介してほしい。



木村

木村圭介 男鹿みなと病院の下
間院長が出席できないため代理
として出席した。7月の豪雨で
中止になった病院のビールパー
ティは9月に開催できてよかつ
た。豪雨の時、自分は函館で開
催されていた消化器外科学会に
参加していて秋田へ戻れず盛岡
に2泊せざるを得なかった。院
長命令によりレンタカーで盛岡
から秋田駅前まで来たが東口が

水没しており車でレンタカーの
返却ができなかった。やつとの
ことで男鹿に戻ったら男鹿は断
水とさんざんな目にあつた。



関 啓二

関啓二 昔から関仁史先生と間
違われることが多い。患者さん
からもよく親戚ではないかと言
われるが血縁関係はない。これ
は大学時代に私が心臓血管外科
で彼が第1外科であつたころか
らのことで自宅にもよく間違い
電話があつた。私は心臓血管外
科をやめて男鹿みなと病院に來
て11年になった。あと2年程度
で定年を迎えるがその後のこと
を思案中である。

秋元正年 今年一番印象に残つ
ているのはやはり7月の豪雨。

船川地区は3日間断水し大変
だった。今年はラグビーワール
ドカップをみることでできてよ
かつた。男鹿みなと病院内科で
これからも頑張りたい。

鈴木寿明 4月から男鹿みなと
病院に勤務している。秋元先生
とは大館鳳鳴高校、自治医大と
同じで、今回職場も一緒になつ
た。消化器内科を専門とし今後
も男鹿で頑張る所存である。

古谷雅幸 脇本で開業してい
るが、昨年、食道がんのフォロー
アップ検査で問題はなく相変わ



自治医大組 秋元(後左) 古谷(右)
佐々木(前左) 鈴木(右)

らず酒も煙草もやめていない。もう閉院してもいいがあと数年は頑張りたいと思っている。

佐々木康雄 当会報の編集長を

1996年から務めている。前回の大雨特集では多数の先生から原稿を頂きありがたかった。自分はもう72歳。本当にやりた

は送りたくないと考え、2、3年内に編集長を譲り仕事も減らしたい。皆さんの原稿だけが頼りなので来年もよろしく。

中締めめ挨拶は神田先生。「今年

皆さんの所感の中で今年はや

はり豪雨の話題が多かった印象です。また会員の高齢化によるものでしょうか、仕事の規模を縮小するような発言も多くみられました。しかし結局は長谷川先生のように生涯現役で頑張りていくのではと思います。今年



神田先生のシメ

空つ風の国から

はじめまして

杉山病院（湯上市）

高橋 淳



男鹿潟上南秋医師会の先生方、はじめまして。いつも大変

お世話になっております。昨年9月から杉山病院で働いている精神科医の高橋淳と申します。

私は「からっ風」で有名な群

馬県前橋市出身です。海の近くに住んでいたなら波の音が故郷の音と言えらると思いますが、私

にとつての故郷の音は「電柱が風を切る音」です。それくらい

冬は風が強く吹きます。なので

秋田でも強風の日にその音が聞

こえたときは懐かしい思いがし

ます。

父は産婦人科医でした。最近

はそのハードさからなり手が少なくなっている科の一つです。

の強い父らしい答えが返ってきました。

自分が小さい頃は、ほとんど

家におらず、しょっちゅう病院

にポケベルで呼ばれていた記憶

があるのですが、それについて

は「仕事が大変だと思ったこと

は全くない」と意外な答えが返ってきました。当時は今より

も色々なことがずっと緩い時代であったこと、同僚と助け合っ

て仕事が出来ていたことが理由

だと話していました。

大学進学に伴い秋田に來たの

で、もう21年も秋田に住んでい

ることになります。いつの間

にか群馬に住んでいた時間よりも

長くなったのだなあとしみじみ

思います。

大学では飲み会と練習が厳し

いことで有名な硬式テニス部に

所属しました。それまでテニスの経験はなく、なんとなく楽しそうだな、という単純な理由で

選んだのですが、これは私の人生において最善の選択だったと思います。

精神科を選んだのも部活の先輩に誘われたからというのが大きいですし、妻と出会ったのも部活が縁でした。もし入部していなければ、全く違った人生になっていたと思います。

初期研修は仙台の病院で終えたのですが、やはり秋田が恋しくなり、市立秋田総合病院で精神科の後期研修医として働き始めました。この時たまたま初期研修医と同じ部屋になったのですが、おかげで良い友人をたくさん得ることができました。実は今働いている杉山病院もその縁で誘ってもらいました。本当に私は運がついているな、とよく思います。

趣味は釣り、ポーカー、TVゲーム、アニメ鑑賞、株式投資などを浅く広くやっています。最近では部活の元先輩に勧められポケモンGOにはまっています。

学生時代にやっていたテニス



阿仁森吉山のモンスターたち

をまたやりたいと思っただけですが、まずは体力作りから始めないと確実に怪我をするな、と思いためらっています。キャンプにも興味があるので、昨年は熊の出没が多く始められませんでした。結局、家でアニメやドラマを観て過ごす時間がほとんどだったので、今年もつと外に出たいと思います。これからどうぞよろしくお願いします。

新入会員



初めまして。

藤原記念病院（潟上市）

阿部 ゆき

11月1日より藤原記念病院外科で勤務をスタートした阿部ゆきと申します。

群馬県立前橋女子高校から秋田大学医学部に入局、2001年3月に卒業し、第一外科（消化器外科）に入局、3年目の半年を藤原記念病院で過ごしているため、この地域でお世話になるのは2回目です。

中学から大学まで部活はずっとバスケットボール部でした。卒業後は全く運動をしない生活になっていましたが、18年に遊びに行った先で転倒、膝蓋骨を骨折して手術を受けた後、リハビリ目的に筋トレを始め、今年に入ってから急に気が向いてジョギングを開始しています。最近では週1〜3回、1回5、6kmランニングしています。

直近の4年半は大学の消化器外科で肝胆膵外科、なかでも膵臓外科を中心に担当してきました。消化器外科といっても、手術治療だけではなく、術前治療から術後補助療法、再発後の化学療法、緩和治療まですべてに携わってきました。

貴重な症例を経験することができますが、手術至上主義的な空気が強くなったことで、自分自身の目指す医療と、実際に提供する医療とが大きく乖離（かいり）してきました。大学医局からの異動を希望しました。

そのほか、働き方改革と言われるのですが、オンとオフの境界があいまいで、時間外の拘束も多く、人間的な生活ができないことも異動理由の1つです。



福井の恐竜

現在は様々な負担から解放され、普通の時間に帰宅し、休日は料理をしたり、楽器を弾いたり、ジムで筋トレ、ランニングをしたりと楽しくストレスの溜まりにくい毎日を過ごしています。藤原記念病院に異動することで得られた心の余裕を、患者さんだけでなくスタッフにも還元して、お互いに働きやすい関係を築いていきたいと思っています。

この地域には高齢独居、老々介護、施設利用の方々も多く、その中で悪性疾患の診断に至る

新入会員



あれから5年、

もう5年

男鹿みなと市民病院（男鹿市）

鈴木 寿 明

ことも少なくないようです。このような方々にとつての「最良の治療」は必ずしもガイドライン通りではありません。ガイドラインを踏まえたうえで、手術、化学療法、緩和治療についてこれまでの経験を生かした情報提供を行い、ご本人・ご家族

が納得した治療が受けられるように、地域の医療機関や施設などと協力してサポートしていきたいところですが、まずは今の環境に慣れ、皆様に信頼していただけるように努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

医師会の先生方には公私共にお世話になっております。第89号で自己紹介させて頂いた2018年から3年間男鹿みなと市民病院で内科勤務していましたが、その後は県南の町立羽後病院、市立大森病院で勤務しておりました。昨年度からまたお世話になっており、大変嬉しく思っております。医局の先生方を始めとしてスタッフの皆様

さんには快く迎えて頂き、外来の患者さんからも「おかえりなさい」と声をかけて頂き、身を引き締めてまた頑張りたいと思っておりますので、今後とも宜しくお願い致します。振り返れば、自治医科大学を卒業し2012年から秋田大学で初期研修、その後、北は大館市から南は羽後町まで各地の医療に携わってきました。日常診



冬のリンゴ畑（横手）

療から、在宅医療、往診・看取り、施設回診や検診などを経験してきましたが、患者さんの病气だけでなく、家族とのつながりやその人の地域での役割等、一人について深く考える地域医療は自分の性に合っているようでした。その中で検診、診断、治療と住民の生活に欠かせない消化器内科に魅力を感じ、2017年に秋田大学大学院入学と共に第一内科へ入局しました。後期研修で研鑽を積み地域医療で義務年限を果たす中、子

育てに奮闘しつつ専門医と学位
を取得することができました。

さて、当院での2023年1
月～11月検査・治療状況ですが、
上部内視鏡900件（ERCP
19件、ESD8件、止血4件、
バルーン拡張4件、胃瘻40件）、
下部内視鏡308件、腹部エ
コー534件でした。今年度か
らはTJF290スコープを常
備しましたのでERCP対応が
常時可能になりました。先日は
98歳の患者さんにも胆管結石治



スタッフたちと

療を行い元気に退院され、高齢
の施設入所者や寝たきりの患者
さんが多いなか小規模ながら精
力的に行っております。また、
8月から対策型胃内視鏡検診を
スタートさせ、市民の癌検診普
及にも努めています。

プライベートではゴルフやマ
ラソンに汗を流しています。今
年は40歳になった節目というこ
ともあり、いつかはと想ってい
た阿仁チャレンジマラソンが今
年で最後になるかもしれないと
のことで思い切って参加を決意
しました。しかし、今年は記録
的な猛暑日が続いたため練習も
ままならず完走できるか不安な
状態でしたが、家族や仲間の応
援や沿道からの声援のおかげで
無事完走することができまし
た。ご声援頂いた皆様ありがと
うございました。

少子高齢化で変わりゆく二一
ズに因應るべく、今後も研鑽を
積み地域住民に貢献できるよう
に努めて参ります。医師会の先
生方には今後ともご指導ご鞭撻
の程、宜しくお願い致します。

医聖祭

1月6日土

小野旅館
(大久保)

湖東医話会による正月恒例の
医聖祭は2020年1月11日の
八郎潟駅前「美富士」以来であ
る。その日は医歯薬科3師会が
勢揃いし故笹尾知先生の音頭で
ヒポクラテスと神農の掛軸に2
礼2拍手1礼後、塩、米、御神
酒を頂いた。21年、23年はコロ
ナ禍のため飯田川の神田家にて
各代表数名により細々と続けら
れてきた。

4年ぶりとなった今回は大久
保の小野旅館に3師会17名が出
席。掛け軸2本に拝礼し3師会
および患者さんの医療安全を祈
願した。医師会を代表し佐々木
範明会長が挨拶に立ち診療報酬
改定、特に薬価引き下げに懸念
を示した。能登半島地震と羽田
空港の事故に言及した石井秀
彦・前歯科医師会長の挨拶に続
き、薬科の佐藤友紀先生が「干

支の龍のように明るく逞しく」
と声を励まして乾杯。司会進行
は超恰幅歯科医の鈴木明彦先
生。コンパニオン3名が座を盛り
上げ、恒例の全員一言挨拶は今
年も失念。二次会もコロナやイ
ンフルの蔓延傾向を理由に中止。

編者が小耳にはさんだところ
によると：薬科の菅原先生は大
久保育ち。幹事でやはり大久保
の宇杉先生は末娘が大学受験。
鈴木先生は親が大久保駅前で薬
局を営んでいた。畑澤先生には
前号でワンポイントをお願いし
た。埼玉出身の和知光先生は今
年のNHK大河ドラマ『光る君
へ』を連想させる平安貴族風の
優男。歯科の橋本先生は特養老
人の口腔管理に熱心で、亮先生
は、15年間続けてきたサンバ隊
中心の「一日市盆踊り前夜祭」
を今年で終了するという。安田

先生は五十嵐病院から小玉内科へ戻るまでの経緯を開陳し、千葉先生は検視で忙しく、神田先生はいつもの軽妙洒落な語り口で会場を沸かせ…。



▶後の立ち席左から。阿部良之助、秋元康宏、鈴木明彦、佐藤友紀、児玉亮、畑沢美雪
中段左から。安田恒男、橋本徹、菅原佑里、和知光、鈴木貴美子。
前のお座り左から。千葉裕一、佐々木範明、神田仁、佐々木康雄、宇杉尚子、石井秀彦



2礼2拍手1礼して
米、塩、お神酒を頂く



ヒポクラテスと神農様



光君をはさんと左は石井、右は菅原

貧血の診断アプローチとして
まずは問診が大事で、次に身体診察が重要になってくる。そこから初めて検査を施行して両方
向から診断していく。
検査のポイントとして最初に
必ずMCV平均赤血球容積を見
る。そして他の血球系(白血球、
赤血球、血小板の3系統)の異
常の有無をチェックする。それ

と網状赤血球増加の有無を絶対
数で確認する。増加していれば
出血か溶血が考えられる。
MCVで小球性貧血を認める
場合、血清鉄低下・総鉄結合能
増加・フェリチン低下では鉄欠
乏性貧血を、血清鉄低下・総鉄
結合能低下・フェリチン増加で
は慢性疾患に伴う貧血を、血清
鉄増加・総鉄結合能低下・フェ



「貧血の診断アプローチ」

秋田大学大学院医学系研究科 血液・腎臓・膠原病
内科学講座総合臨床教育研修センター

特任助教 小林 五十鈴 先生

日時▼令和5年10月19日

場所▼ZOOMを介したオンライン

講演会

男鹿潟上
南秋医師会

生涯教育講座

リチン増加では鉄芽球性貧血やサラセミアを疑う。

鉄欠乏性貧血の原因としては、出血が一番多い(49・8%)が、原因不明も3割ほど。治療は鉄剤の経口投与が原則である。

慢性疾患に伴う貧血は、慢性炎症性疾患(慢性感染症、膠原病、腫瘍など)に続発する貧血で、基本的には原疾患の治療を優先する。鉄剤を投与しても炎症による鉄利用障害があるため貧血は改善しない。

腎性貧血は腎障害により尿管の萎縮と間質の線維化が進行してエリスロポエチン(EPO)産生が低下することによって生じる。血中のEPOは貧血に見合わない値となっており、正常値でも上昇していないことがポ



オガレの園児作品より

イント。治療は赤血球造血刺激因子製剤(EPA)の投与やHIF-1 α 阻害薬の投与である。

巨赤芽球性貧血はビタミンB12や葉酸の欠乏による貧血で、汎血球減少、大球性貧血を呈す。胃の全摘後などにみられる貧血で、治療は活性型ビタミンB12製剤の筋注である。

溶血性貧血は何らかの機序によって赤血球崩壊が亢進した結果生じる貧血の総称で、黄疸・貧血・脾腫を主な症状とする。赤血球自体の異常では、遺伝性球状赤血球症や鎌状赤血球症、サラセミアなどがある。赤血球

外の因子による溶血性貧血には、免疫性溶血性貧血では自己免疫性溶血性貧血などが、非免疫性溶血性貧血ではDICやTTPなどの赤血球破砕症候群といった重症疾患が鑑別として挙げられる。網状赤血球の増加の有無と他の血球系の異常の有無を確認して、末梢血塗抹標本を確認することが重要である。

再生不良性貧血は末梢血では汎血球減少症、骨髄では低形成

を特徴とする症候群で、他の疾患を除外することで診断する。一部の先天性を除きほとんどが後天性であると言われている。

骨髄異形成症候群は汎血球減少、大球性貧血で、骨髄穿刺で多系統に異形成を認める。

多発性骨髄腫は正球性貧血、Caやや高値、M蛋白を認め、しばしば腰痛を伴う。さらに骨髄検査が必要となる。

血液専門医に紹介すべき貧血とは、診断に骨髄穿刺を必要とする貧血で、鉄欠乏性貧血、腎性貧血、慢性炎症による貧血以外の貧血である。但し溶血性貧血は骨髄穿刺なしで診断がつくが、専門医の診療を必要とする疾患があり紹介が必要である。

他の血球異常を伴う貧血や、スクリーニング検査で診断確定できない貧血はご紹介頂きたい。

「救急・集中治療領域の漢方薬の使い方」



秋田大学大学院医学系研究科医学専攻
病態制御医学系 救急・集中治療医学講座

教授 中 永 士 師 明 先生

日時▼令和5年11月16日
場所▼ZOOMを介したオンライン講演会

漢方と救急はどういう繋がりがあるか。一番もつになった「傷寒論」「金匱要略」を見てもその当時の急性疾患を扱っ

ていて、救急マニュアルではないかと思われるような疾患と漢方処方方がたくさん出てくる。急性期治療のポイントは、生



吉田賢志記者

薬含有数が少なければ少ないほど即効性があると考えられ、生薬含有数によって使い分けている。また、短期集中的に服用させる。例えば1日1包ずつ3回飲ませる薬は、1回に2〜3包飲ませる（3包療法）。但し良くなったら終了とする。

芍薬甘草湯は芍薬（冷やす生薬、以下、冷）と甘草（中間の生薬、以下、中間）の2つだけなので即効性が期待できる。基本的には、急激におこる筋肉のけいれんを伴う疼痛、筋肉・関節痛、胃痛、腹痛に使える。疾患としては胆石や尿路結石、胃痛、痔痛、筋・筋膜性腰痛症、

有痛性筋痙攣（こむら返り）に使われ、破傷風にも応用している。芍薬甘草湯の作用機序としては、中枢性鎮痛作用と末梢性筋弛緩作用が知ら

れている。面白いことに、芍薬甘草湯は筋肉が痙攣している時は筋肉を弛緩させるが、普通の時には筋肉を弛緩させない。

次は治打撲一方。漢方では気血水概念があるが、治打撲一方は、血の巡りが滞る瘀血（おけつ）（微小循環障害）を治す漢方薬である。桂皮（温める生薬、以下、温）、川芎（温）、川骨（冷）、甘草（中間）、大黄（冷）、丁子（温）、撲楸（冷）の7種



明鏡洞と秋田犬マサル（福井県高浜町）

類の生薬でできている。適応は打撲・捻挫による腫脹・疼痛だが、いろいろな外傷に応用している。治打撲一方には多面的な機能知られている。含有して

いる生薬の相加相乗作用により抗炎症作用、抗浮腫作用、鎮痛作用、血流促進作用、発表・解熱作用、鎮静・鎮痙作用、抗菌・抗ウイルス作用、抗血栓・抗凝固作用を示すほか、駆瘀血作用、抗酸化作用、微量元素による作用、免疫賦活作用、行気（気の巡りを良くする）作用もある。

越婢加朮湯。ママシとかスズメバチなどの動物咬傷で熱感があるものを使う。水滯（体液の偏在）を改善させる。石膏（冷）、麻黄（温）、蒼朮（温）、大棗（温）、甘草（中間）、生姜（温）の6

剤からなり、冷やす生薬の石膏が入っているので炎症の中でも熱感のあるものに良い。利水作用は蒼朮にある。痛みを取るのに麻黄が入っている。带状疱疹の急性期、蜂窩織炎、痛風、偽痛風、熱傷、関節水腫などに伴う腫脹・浮腫に応用できる。

救急治療では、めまいに対し五苓散の3包療法を良く使う。五苓散は回転性のめまいに、フラツとするめまいには苓桂朮甘湯を使う。救急ではどちらもあるので、どちらかわからない場合は五苓散と苓桂朮甘湯の両方を飲んでもらう。頭痛と嘔吐がある場合は、クモ膜下出血等を否定したうえで五苓散と呉茱萸湯を飲んでもらう。

まとめ。救急では標準治療に上乘せをする形で漢方薬を使っている。初回に2〜3包を服用させる3包療法がコツで、症状が改善すれば終了する。急性期でも「気血水」理論を活用すると漢方を使えることが多い。重症例では2剤を組み合わせることもある。



オガーレの園児作品

ワンポイント アドバイス ③⑥

おらほの先生から



最新の認知症薬

質問

新しい認知症薬が承認されたという報道がありました。今までの薬とどこが違うのか、効果や副作用、どんな人に使用できるのかを教えてください。

ご指南役

介護老人保健施設ほのぼの苑

小林 顕先生



レケンビ®(レカネマブ製剤)というアルツハイマー病の新薬が令和5年12月20日に薬価収載され発売された。薬価は通常1回投与量500mg 5ml 1瓶が11万4,443円である。

この薬はアルツハイマー病の原因物質のひとつであるアミロイドβというタンパク質に対するモノクローナル抗体である。投与されたレカネマブはアミロイドβプロトフィブリルという重合アミロイド分子に結合し、レカネマブIIアミロイド複合体は脳脊髄液を經由して脳内から排泄される。その結果、脳内の認知症原因物質が減少することで効果が表れる。つまり認知症の原因に対する治療薬であり、日本のエーザイ株式会社とスウェーデンのバイオアークテックABとの20年に及ぶ共同研究で開発された薬である。

レカネマブの適応はアルツハイマー病のみで、しかもアルツハイマー病による軽度認知障害(MCI)および軽度認知症のみに使用される。中等度や重度のアルツハイマー病はレカネマブの適応にはならない。効果は認知症の進行抑制であり、認知症の進行を完全に止めることはなく、ましてや認知症を治すことはできない。最近では医学が発達して治る癌もあるが、認知症はまだ今のところ治す治療がないことは大変残念である。

変形性膝関節症を例にとるならば、レカネマブはいわば膝関節の軟骨再生医療であり、以前からある薬は膝痛に対する鎮痛剤等に相当すると思われる。

以前からの認知症治療薬、ドネペジル、リバスチグミン、ガランタミン、メマンチンなどの効果は、いずれもアルツハイマー病における認知症の記憶障害などの症状の進行抑制である(ドネペジルのみはレビー小体型認知症にも適応がある)。レカネマブは認知症そのものの治療薬であり、そこが大きく他の薬と異なる点である。私は整形外科医であるが、整形分野の

レカネマブは点滴静注で2週間に1回投与するが、副作用の出現率は約45%と高い。副作用で特に問題になるのが、脳の浮腫、脳における浸出液の貯留、脳出血、脳の表面へのヘモジデリン(血液に由来する鉄化合物)沈着等で、これらはMRIで診断される。脳に上記の所見が出現するのはレカネマブを投与した患者の約29%である。

MRI所見があっても症状を伴わないことも多いが、症状が出る場合は、頭痛、めまい、吐

ご存じのように認知症にはいろいろ種類があり、アルツハイマー病以外にも血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症等があるが、レカ



横手のかまくら

き気等の軽いものから、錯乱、視覚障害、歩行障害、痙攣、てんかん重積等、重篤な事象が起こることがある。MRI所見の軽くないもの、またMRI所見が軽くても何らかの症状を伴う場合はレカナマブの投与を中止しなければならない。

レカナマブを投与できる医療

機関は限定される。投与開始時から6か月の間は、これらの脳所見の出現の有無を経過観察できるMRIを保有し、また認知症や脳疾患について一定の知識と経験がある常勤医がいる病院である。秋田では大学病院や地域の中核的な総合病院等である。投与前すでに血管性脳浮腫

や脳出血、ヘモジデリン沈着などの所見がMRIで存在する患者への投与は禁忌とされる。そして次が一番大事であるが、レカナマブの投与により重篤な副作用が出ることがあるため、患者や家族には投与前に十分な情報を提供して説明し同意を得ておくことが必要である。

このようにレカナマブは厳しい条件のもとに用いられる新しい認知症治療薬である。臨床試験での有効性については専門的な指標の評価になるため本稿での詳述は避けるが、症例によっては今までの薬では得られない優れた効果が得られることは確かかなようである。

今日の診察室から 58



たむら船越
クリニック
(男鹿市)

田村 俊子

ここ数日診察室の窓の外は雪景色、あの暑かった夏がうそのようです。コロナが5類になり、現在当院でもいわゆる発熱外来の様式を変更して診察を行っています。インフルエン

ザの流行が早々に始まっており、連日インフルエンザ陽性の患者さんが出ているのに加えてまだまだコロナ陽性の方もおられます。本格的な冬を迎えて感染する方が増えることが当然予想されますが、不安定なクスリの流通が頭痛の種。薬局から咳止め等の在庫がないので変更してくださいと連絡が入ることがしょっちゅうです。はたして冬を乗り越えられるでしょうか？

それが多すぎた昨年でした。7月の水害の際は自分も日常よく行く場所がみるみる水没していくニュース映像をぼうぜんとながめることしかできず、秋田でこんなことが起きるとは信じられない思いでした。しかもその後の夏の異常な暑さ。今まで首都圏などの気温を見て、あんな所にはとても住めないな〜と他人事ですんでいたものが、下手すると秋田が全国で一番気温が高い?? 私の学生時代(何十年前の話かと笑われそうですが)はエアコンのある部屋に住んでいる学生はごくごくまれ、車もエアコンがなかったりすることもありましたから、地球温暖化恐るべしです。今はエアコンが故障でもしたらそれこそ命の危機にもなりかねません。

さらに長〜い猛暑がようやく終わったと思ったら今度はクマの出没。以前は男鹿にクマはいないと聞いていましたが、クマの出没情報。患者さんたちから「クマが怖くてウォーキングもできなくなりました」との声も聞きます。雪が続けば冬眠するのですが、来春以降はどうなることやら。

そうこうするうちにテレビでクリスマス特集の番組を目にしたたりお店の飾りつけがクリスマス仕様になってきたりで、先日20年来クリスマスケーキの予約をしているお店に行つて、帰省

してくる我が家の子供たちが楽しみにしているブッシュドノエルをお願いしてきました。そのお店は7月の水害で浸水してしばらく休業されていて、もうあのブッシュドノエルは食べることができないかもと心配でした。お店の方は「今でもあれは夢だったのではないかと思いません」と話しておられ、再開までに大変なご苦労をされたのだらうと頭の下がる思いでした。今年はいつも以上に大切に味わいたいと思っています。

クリスマスが終わればあっという間にお正月。年齢を重ねると時が過ぎるのを早く感じるようになるといいですが、まさしく身をもって実感している今日この頃。通勤の帰り道を運転しながら日一日と確実に夕暮れの時間が早くなっていると「もう冬になってしまった!」「1年が終わってしまった!」となぜかもの寂しい気分になってしまいます。子供のころや学生時代はまったくそんなことを考えたこともなく、それこそ時間は無限



一日市の裸参り(八郎湯町)

にあると思っていたような気がします。ある意味人生も夕暮れ、小心者の私としては神社にお参りする度にひたすら大過なくこれからの日々をすごせませすようにとお願ひしているのです。来年は、これまでにない、の少ない平穏な1年であってほしいものです。

患者さんの波が途切れてはうっと感慨にふけていたら次の患者さんがみえたようです。さて診察に戻りましょうか。

今回は当院の院長、田村広美にお願いします。手近なところでスママセン。

ナイト キッツ

「お花の田村」

たむら船越クリニック (男鹿市)

田村 広美



入り口においてある300円とか500円とかの奴。あれですあれ。

そもそも僕はスーパーによく行く(コンビニもよく行く)のだけど、あそここのコーナーをしばらく眺めていることが多い。そろそろ、チューリップやスイートピー、もう少しすると桃の枝も置いてあつたりする。ラナンキュラスなんかもたまにあるかな。春の花が終わるとガーベラ、カーネーション。デルフィニウム、スターチスなんかが並んでくる。やがてサンダーソニア、ひまわりの季節(ひまわりの切り花ってすぐに下を向いちやうんだけどなんかいい方法はないのかな)。

奥さんに誇らしげに宣言してみよう。
「俺って、秋田の60代男性の中でお花を買う頻度は3本の指に入るだろうね」
そのくらい僕は頻繁にお花を買って帰る。月に2、3回は買っているんじゃないかな。といっても、スーパーの

今日買ってきたのは、松に千両、そして小さな水仙。受け取った奥さん。早速、花瓶に入れサイドボードの上、先日彼女が買ってきた千支の正月飾り(今年は辰の置物)と

並べて「うん、お正月っぽいね」。

昔から花を買うのは好きだった。病院勤めの頃は看護師さんの送別会の度にでっかい花束を担いで出かけて行った。あの頃決して怪しい下心があつたわけではなかった。はずだが：口の悪い同僚からは「お花の田村」と呼ばれたりしていた。僕は純粹に花を買うことが好きなんだよ。ホント。その証拠に結婚30年以上経った今も、定期的にフラワーアレンジメントが届く通販を申し込んだりしている（なんの言い訳だ？）。

準備万端（？）で迎えたお正月だったが、子供たちはそれぞれ風邪をひき帰省の予定をキャンセル（幸い数日で皆元気になったようだ）。我が家は、数人分のおせち料理を3日かけて片付け、そこからはひたすらカレーを食べ続けることになった。例によつ

て大量の玉ネギを炒めるところから始まり年末に2日半かけて作った大鍋一杯のカレーを毎日温めなおしながらカレーライス、ホットサンドでカレーパン、バターで軽く炒めたご飯を敷いてカレーにとろけるチーズを載せオーブントースターで焼きカレー、カップラーメンにトッピングしてカレーラーメン：3食カレーの日々。正月だからと、とっておきの1981年ブローラ（83年に閉鎖した幻の蒸留所。人気が高く近年再稼働し2021年樽詰めが行われた。リリースされるのは数年後だろう）を開けたけど、おつまみもカレー。うーん、もう一つ盛り上がらない。

元旦からいろいろなことが起きていて、「今年は絶対初詣に行つてきちんとお願いしておかなきゃだめだよ」という奥さんに急かされ混んでいる神社へ行く。長い行列を進み神様の前（？）に到着。いつもよりちょつ

ぶりお賽銭を奮発し、子供たちが皆楽しく自信を持った人生を送れますように、家族全員健康で過ごせますように、モルト仲間との焚火や忘年会ができますように。あー、もう一つとっても大事なお願い。奥さんと二人あんまり喧嘩せずに過ごせますように。お賽銭足りなかつたかなあ。最後のお願いちゃんと届いたかなあ。

〈酔〉



阿仁スキー場

編集後記



初春や思ふ事なき懐手（尾崎紅葉）

昨年7月の秋田大雨に猛暑と都市型クマ騒動、ロシアの蛮行にガザ住民を守らず盾とするハマス、一方、外為法違反容疑者を1年も拘束した警視庁と東京地検の冤罪事件、金にだらしない与党の体たらくを思うと呑気に懐手などしている場合ではない▼そこへ元日午後4時過ぎ、震度7の能登半島地震である。被害状況も不明だった翌日、今度は羽田空港でJALと支援助物資を積んだ海保機の激突事故。平穏な1年を祈る年賀状もこれではたまらない。被災された方々に衷心よりお見舞い申し上げる▼厳密にいえば干支は兎らしい古谷先生、龍にまつわる蘊蓄が面白い。編集子も学生時代は古谷家の仏壇と神棚のある座敷でよく母上のご馳走を頂いた。食道生検が陰性で安堵▼湖東地区になじんだ辰年還暦男の鶴木先生がいうように三波春夫の『世界の国からこんにちは』の70年万博から80年代は夢を持てた。暗い世相にめげず趣味と仕事に勤しんで頂きたい



能登半島へ向かう
DMAT (1月8日)

▼かかる憂き世を生きる術は「心の中で霊力を帯びた素晴らしい言葉を繰り返して自分に聞かせること」と三浦先生▼東先生は、希望の処方箋は難しくないが、当事者に行方させることは困難、選挙などで背を押すしかないと述べる▼食物汚染から遺伝子操作まで、神の領域を犯す人類は自滅する気かと警鐘を鳴らす肥田野先生▼行方不明になったり犬にかまれたりと主を心配させるケンシン君。今年は献身で行こう▼かかあ天下と空っ風の群馬で生まれた高橋淳先生は「仕事が大変だと思ったことは全くない」とおっしゃる父上を誇りにしている。ぜひ一緒にテニスを▼悪性疾患を患う高齢者にとって最良の治療は必ずしもガイドライン通りではないと述べる阿部ゆき先生。

卓見である。運動を好み心身ともに頼もしい▼鈴木寿明先生が消化器全般に満を持して半島に帰った。秋田内陸100キロマラソンにもチャレンジとは逞しい。今年32日目も実施と聞く。応援に行くぞ！▼美味なケーキを頂きながら「これまでではない」が少ない平穏な年をと願う俊子先生を裏切るかのように元日から…ま、正月三が日連続にならなくてよかった▼日本企業エーザイなどが開発した認知症新薬について小林先生が説明して下さった。感謝。が、臨床使用となると厄介そう▼勉強会の吉田先生と連載エッセイの田村先生、関先生の忘年会労作記事に感謝▼やっとな動き出した子育て支援策も先行き不透明だ。少子化は子供同士の競争的成長を阻み、平均寿命



7回目の辰年から素敵な年賀状

世界1なのに効率が悪いとかで働けど働けどGDPも所得も下がりが続く日本。鴨長明ではないが、行く衰えの流れは絶えずしてしかも元の衰えにあらざる…だが底をつきつつある。そろそろ昇り竜へ変身か▼真冬の寒さと余震と先行き不安におののく能登半島は1月15

日現在、犠牲者221名、不明24名、負傷1015名、倒壊家屋数不明。秋田県からもDMATや精神医療チームDPATがいち早く駆けつけている。元寇に対する鎌倉幕府のように今は神に祈るしかない▼次号は5月。宜しく
(編集長・佐々木康雄)

表紙説明

機窓から富士山

大日向かなえ

(千葉克介写真教室)

昨年11月に福井へ旅行した際、羽田空港から小松空港に向かう飛行機の中から撮影した一枚です。こんなにきれいに富士山が見えるとは思っていませんでした。慌ててカメラを出しました(預ける荷物に入れなくて良かった!)。青空に浮かぶ雪を被った山



機窓

頂と、霧がかかったような山脈が幻想的でした。東京から西へ向かう飛行機は、富士山を見られることもあるので窓際がオススメです。行き先によって左右が変わるので注意です。この写真は羽田↓小松で左側の座席で撮影しました。

お便りは 〒018-1401

潟上市昭和久保字町後173-42

ハートインクリニック 佐々木 康雄

医師会メールアドレス info@oknmed.jp